学校番号	201

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	詳説世界史Ｂ（山川出版社）						
副教材等	最新世界史図説タペストリー 二十訂版（帝国書院）、総合マスター世界史Ｂ（浜島書店）、新世界史要点ノート応用編（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・人名や用語、事件や地名などの語句を丸暗記することを目指すのではなく、現代の諸課題に応用できる概念をとらえることを目標にしてください。
・世界史は今までに知らなかったことがたくさん出てくるので覚えるのが大変だと考える人が多いです。しかし、理解ができればそれほど大変ではありません。そのため勉強法の前提としてですが、入念に予習を行い、授業に集中してしっかり取り組むことがまず肝心です。授業の内容をその時間でしっかり理解すれば、復習に時間を割く必要はなくなります。その為にも、予習する時間を大事にしましょう。あまり理解できていなくて、後で覚えるほうが大変です。
・予習の仕方ですが、教科書を読んで全体の流れを押さえましょう。語句を確認し、問いを持ちながら進めてください。
・復習の仕方ですが、語句の説明や意味を暗記することに時間をかける傾向がありますが、授業担当者の説明や、その時自分はどんなことを考えていたかを思い出すようにしましょう。授業にどのように臨んでいたかを思い出して、自分の学びを振り返る時間にしましょう。周りの人との共有も有意義です。

2　学習の到達目標

・世界の歴史への興味・関心を高め，主体的に探究していく態度を身につけます。
・世界の歴史の大きな枠組みと流れを，地理的条件や日本の歴史とも関連付けながら理解します。
・文化の多様性と現代世界の特質を多角的かつ広い視野から考察し，歴史的思考力を培います。
・世界史についての資料を適切に選択し，資料に基づいて考察した結果を適切に表現する力を身につけます。
・現代社会が直面する諸課題について，歴史的観点から考察し，主体的な追究を通して認識を深めます。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・世界の歴史に対する関心を高め，文化の多様性と現代世界の特質，現在の世界の諸課題について主体的に追究している。	・世界各地の諸事象について，地理的条件や日本史とも関連付けながら考察している。 ・世界史を，時間的なつながりや空間的なつながりに着目して考察している。 ・世界各地，各時代の諸事象の特徴を，他の地域や時代の諸事象と比較して適切に考察している。 ・政治，経済，社会，文化，生活など様々な観点から世界史の諸事象を捉え，広い視野からその歴史的意義を公正に判断している。 ・資料に基づいて追究し，考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	・収集した世界史についての諸資料を，客観性や公正さにも配慮した上で適切に取捨選択して活用している。	・世界史の大きな枠組みと流れを，地理的条件や日本史とも関連付けながら,理解している。 ・世界史的な知識を，時間的なつながりや空間的なつながりに着目して整理している。 ・政治，経済，社会，文化，生活など様々な観点から世界史の諸事象を理解し，その基本的知識を身に付けている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題	・発問評価 ・提出課題 ・定期考査	・提出課題 ・定期考査	・提出課題 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	序章　先史の世界	・アフリカで人類が誕生し，農耕・牧畜が始まり，自然環境とのかかわりの中で農耕文化に地域的特色が生じたことを理解する。	○	○	○	○	a：人類が誕生し，自然環境に適応しながら農耕・牧畜を始めたことについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：上記内容について多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：上記内容について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：上記内容について理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
	第1章　オリエントと地中海世界	1　古代オリエント世界 ・大河流域に文明が生まれ，周辺地域と交流が生じたこと，及びオリエント文明の特色を理解する。また，ペルシア人の活動によって西アジア全体を統一する統治体制をつくりあげたことを理解する。	○	○	○	○	a：オリエント文明の展開とペルシア人の活動を中心とした西アジア世界の特質と，その影響下に生まれた地中海周辺の都市文明について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：上記内容について多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：上記内容について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：上記内容について理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
一学期	第1章　オリエントと地中海世界	2　ギリシア世界 ・オリエント文明の影響を経て，ポリスを中心とするギリシア文明が形成，及びギリシア文明がアレクサンドロス大王の遠征で西アジア一帯に伝えられたことを理解する。 3　ローマ世界 ・都市国家から出発したローマが大帝国を建設したこと，及びローマ帝国皇帝の理念やキリスト教の成立と展開が後のヨーロッパ世界につながることを理解する。 ・ササン朝がローマ帝国と対抗してペルシア文明を成長させ，その文明を東西に伝えたことを理解する。	○	○	○	○	a：地中海周辺の都市文明を統合したローマ帝国，及びペルシア人の活動を中心とした西アジア世界について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：上記内容について多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：上記内容について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：上記内容について理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	第2章 アジア・アメリカの古代文明	1 インドの古典文明 ・インダス文明の都市計画、アーリヤ人が北インドに展開した王朝史、また南インドに王朝が成立し，海上交易で活躍したことを理解する。 ・インドの宗教(信仰)の変遷と社会形成を理解する。	○	○	○	○	a: 南アジアで独自の宗教と社会制度を基盤とした文明が形成されたことについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: 上記内容について多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c: 上記内容について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d: 上記内容を理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
一学期	第2章 アジア・アメリカの古代文明	2 東南アジアの諸文明 ・東南アジアの諸民族が南アジア文明や中華文明の影響を受けながら，海上交易の拡大にともなって港市を形成し国家を誕生させたことを理解する。	○	○	○	○	a: 東南アジアの諸民族が南アジア文明や中華文明の影響を受けながら，海上交易の拡大にともなって国家を形成したことについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: 上記内容について多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c: 上記内容について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d: 上記内容を理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
		3 中国の古典文明 ・黄河・長江流域の中華文明の重要な要素が現れたこと，春秋戦国時代の経済や文化の発展を理解する。 ・秦・漢帝国の時代に皇帝を中心とした統治体制が生まれ，中華文明に依拠する東アジア世界の骨格が形成されたこと，及び遊牧民の華北進出と華北住民の江南への移住がおこったことを理解する。	○	○	○	○	a: 東アジアの農耕地帯に成立した中華文明が，中央ユーラシアに台頭した遊牧国家と関係しながら，日本を含む東アジア世界を形成したことについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: 上記内容について多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c: 上記内容について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d: 上記内容を理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	第2章 アジア・アメリカの古代文明	4 南北アメリカ文明 ・アメリカ大陸で独自の文化，文明が生みだされたこと，具体的には，メキシコ高原，中央アメリカ，アンデス地方で独自の農耕文明を基盤に都市文明が展開したこと，及びメキシコ高原にアステカ王国，アンデス地方にインカ帝国が成立したことを理解する。	○	○	○	○	a: アメリカ大陸で独自に発達した都市文明や国家について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: 上記内容について多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c: 上記内容について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d: 上記内容について理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
	第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の	1 草原の遊牧民とオアシスの定住民 2 北方民族の活動と中国の分裂 3 東アジア文化圏の形成 ・遊牧国家がオアシス都市の覇権をめぐって中国と長期の抗争を続けたこと，中央ユーラシアで遊牧国家突厥が成立したことを理解する。	○	○	○	○	a: 中央ユーラシアに台頭した遊牧国家を中心にした中央ユーラシア世界の形成と，中央ユーラシア世界と東アジア世界との関係について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: 上記内容について多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c: 上記内容について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d: 上記内容を理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
	第4章 イスラーム世界の形成と発展	1 イスラーム世界の形成 2 イスラーム世界の発展 ・イスラーム教の成立の背景と特質を理解する。 ・イスラーム法にもとづく国家体制が確立したことを理解する。 ・活発なムスリム商人の交易活動を理解する。 3 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 4 イスラーム文明の発展 ・融合文明であるイスラーム文明がヨーロッパや中国に与えた影響について理解する。	○	○	○	○	a: アラブ人とイスラーム帝国の発展，トルコ系民族の活動とイスラーム世界の拡大，海陸の交易網の形成とユーラシア諸地域間の活発な交流について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: 上記内容について多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c: 上記内容について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d: 上記内容について理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展	1 西ヨーロッパ世界の成立 2 東ヨーロッパ世界の成立 ギリシア化の進展，コンスタンティノープルの経済的繁栄、・スラヴ人が各地に国家を建設し，ビザンツ文化やギリシア正教，カトリックを受容したことを理解する。 3 西ヨーロッパ中世世界の変容 ・西ヨーロッパ世界の独自性が確立されたこと，生産力の向上を背景に拡大の動きが生まれ，国王を中心とした中央集権化がすすんだこと，中世を通じたキリスト教の役割とイスラーム文明がヨーロッパ文明に与えた影響を理解する。 4 西ヨーロッパの中世文化 ・14～16世紀にかけて，人間の理性や感性を重視するルネサンスがおこったことを理解する。	○	○	○	○	a: 地中海世界の政治的統一性が失われた後に，キリスト教を共通の基盤とするヨーロッパ世界がそれぞれの地域性を保ちながら東西に形成され，展開していった過程について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: 上記内容について多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c: 上記内容について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d: 上記内容について理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
	第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展	1 トルコ化とイスラーム化の進展 ・中央ユーラシアから移動とイスラーム教の受容を理解する。 2 東アジア諸地域の自立化 ・ユーラシア東部から中国東北地方，華北一帯で遊牧民族が台頭 3 モンゴルの大帝国 ・モンゴルの 13 世紀の支配，貨幣経済を進展させたことを理解する。	○	○	○	○	a: ユーラシアの諸民族が，東アジア世界をはじめとするユーラシア諸地域の交流と再編に大きな役割を果たし，モンゴル帝国が成立・再編されていった過程について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: 上記内容について多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c: 上記内容について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d: 上記内容について理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
二学期	第7章 アジア諸地域の繁栄	1 東アジア世界の動向 2 清代の中国と隣接諸地域 ・中華帝国を再現した明が商工業の発達により繁栄，しかし，北虜南倭によって衰退し，女真の清の建国がなされた。また冊封もとづく東アジア政治秩序の再編が行われたことを理解する。 3 トルコ・イラン世界の展開 4 ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展 ・西アジアや南アジア、東南アジア島嶼部にイスラーム勢力が拡大して港市国家が成立、大量の銀がアジアの市場に流入し交易の活発化をもたらしたことを理解する	○	○	○	○	a: 14 世紀から 18 世紀までの西アジア，南アジア，東アジアの動向，及びそれぞれの地域の社会や文化の特質について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b:上記内容について多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c: 上記内容について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d: 上記内容について理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
二学期	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成	1 ヨーロッパ世界の拡大 2 ルネサンス 3 宗教改革 4 ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成 主権国家体制が形成されたことを理解する。	○	○	○	○	a: 15 世紀から 16 世紀までのヨーロッパ世界の動向，及びヨーロッパの社会や文化の特質について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: 上記内容について多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c: 上記内容について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d: 上記内容について理解し，その知識を身に付けている。	･授業態度 ･発問評価 ･提出課題 ･定期考査
	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	1 重商主義と啓蒙専制主義 2 ヨーロッパ諸国海外進出 ･西欧では重商主義政策をとり、植民地をめぐって内外で争いを繰り返したこと，その過程で東欧では啓蒙専制君主が出現したことを理解する。 3 17～18世紀ヨーロッパの文化と社会 ･科学革命，主権国家体制の成立を背景とした国際法，貴族社会を背景としたバロックやロココの芸術活動について理解する。	○	○	○	○	a: 17 世紀から 18 世紀までのヨーロッパ世界の動向，及びヨーロッパの社会や文化の特質について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: 上記内容について多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c: 上記内容について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d: 上記内容について理解し，その知識を身に付けている。	･授業態度 ･発問評価 ･提出課題 ･定期考査
	第10章近代ヨーロッパ･アメリカ世界の	1 産業革命 ・産業資本主義が確立し，自由貿易と保護貿易で対抗したこと，産業資本家の自由主義が広まる一方で，労働運動や社会主義思想が生まれたことを理解する。 2 アメリカ独立革命 3 フランス革命とナポレオン ・18 世紀の経済的変化や啓蒙思想を背景としてアメリカ合衆国の独立，フランス革命が発生したことを理解する。	○	○	○	○	a: 18 世紀後半から 19 世紀までのヨーロッパとアメリカの諸革命，及び社会の産業化と国民国家の形成が相互に関係しつつ進んだことについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: 上記内容について多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c: 上記内容について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d: 上記内容について理解し，その知識を身に付けている。	･授業態度 ･発問評価 ･提出課題 ･定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
二学期	第11章 欧米における近代国民国家の発展	1 ウィーン体制の成立 2 ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 ・ヨーロッパでは自由主義・ナショナリズム、国民国家が形成されたこと，国民意識が育成されたこと、工業が躍進したことを理解する。 3 南北アメリカの発展 ・18 世紀の経済的変化領土拡張が行われ、戦争後は工業が躍進したことを理解する。 4 19世紀欧米の文化 ・科学技術の発達が工業化の進展が人々の生活を急速に変容させたことを理解する	○	○	○	○	a: 19 世紀のヨーロッパ・アメリカ社会の産業化と国民国家の形成が相互に関係しつつ進んだことについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: 上記内容について多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c: 上記内容について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d: 上記内容について理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
二学期	第12章 アジア諸地域の動揺	1 オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動 ・ヨーロッパを中心とした国際的分業体制に組み込まれたことを理解する。 ・西アジアや南アジアに原初の姿や伝統に復帰しようとする動きが現れたこと，日本が明治維新により近代化をめざし，列強の世界進出の中で日清戦争，日露戦争を戦ったことを理解する。	○	○	○	○	a: 世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の対応，及び 19 世紀のアジアの特質とその中での日本の位置づけについて関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: 上記内容について多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c: 上記内容について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d: 上記内容について理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
三学期	第13章 帝国主義とアジアの民族運動	1 帝国主義と列強の展開 2 世界分割と列強対立 ・欧米諸国が世界各地に進出し，植民地や勢力圏の獲得競争を繰り広げたこと，及び世界的な労働力の必要性から人々の国際的移動が急速に拡大したことを理解する。 3 アジア諸国の改革と民族運動 ・アジア・アフリカで民族の解放・独立をめざすナショナリズムの運動が展開されたこと，しかし多くは失敗に終わり，社会や文化の変容を余儀なくされたことを理解する。	○	○	○	○	a: 19 世紀後半から 20 世紀初めまでの欧米諸国の工業化の進展にともなう国家・社会の変化及び帝国主義時代の世界の動向と社会の特質について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: 上記内容について多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c: 上記内容について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d: 上記内容について理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
三学期	第14章　二つの世界大戦	1　第一次世界大戦とロシア革命 2　ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3　アジア・アフリカ地域の民族運動 ・第一次世界大戦の総力戦，ロシア革命とソヴィエト連邦が世界に与えた影響について理解する。 ・戦間期，アメリカ合衆国の国際的影響力が拡大し，ファシズムが生まれ，スターリンの独裁など，国家や社会のあり方が大きく変化したことを理解する。 4　世界恐慌とファシズム諸国の侵略 5　第二次世界大戦	○	○	○	○	a：第一次世界大戦から第二次世界大戦にいたる世界戦争の時代の国際社会の変遷と大衆社会の出現，及び20世紀前半の世界の動向と社会の特質について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：上記内容について多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：上記内容について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：上記内容について理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
	第15章　冷戦と第三世界の独立	1　戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 2　米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 ・大戦後，米ソ両国が地域的集団防衛体制を樹立し，冷戦が生じたこと，及び冷戦により様々な紛争がひきおこされたことを理解する。 ・西ドイツや日本の経済復興で高い経済成長が見られたことを理解する。 3　第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り 4　石油危機と世界経済の再編 ・1960年代アジア・アフリカでは植民地の大半が独立，冷戦下の世界で第三世界として平和共存を模索することを理解する。 ・国際政治は多極化に向かったことを理解する。	○	○	○	○	a：第二次世界大戦終結後の冷戦体制の始まりから，アジア・アフリカ諸国の独立，平和共存の模索，アジアやヨーロッパの経済成長による世界の多極化を経て1970年代にいたるまでの世界の動向について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b：上記内容について多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c：上記内容について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d：上記内容について理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
三学期	第16章 現在の世界	1 社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 2 途上国の民主化と独裁政権の動揺 3 地域紛争の激化と深刻化する貧困 4 現代文明の諸特徴 ・地域統合や地域協力をめざす動きが世界各地で進行していること，地域紛争が世界各地で頻発していることを理解する。 ・環境問題など地球世界の切実な課題が生じていることを理解する。	○	○	○	○	a: 1980 年代以降の市場経済のグローバル化や地球的諸課題，及び世界と日本の動向，社会の特質について関心を高め，意欲的に追究しようとしている。 b: 上記内容について多面的･多角的に考察し，その結果を適切に表現している。 c: 上記内容について様々な資料を収集し，有用な情報を読み取り，図表などにまとめるなどして歴史的事象を追究する方法を身に付けている。 d: 上記内容について理解し，その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。